

東洋英和女学院大学大学院

2020年度前期入学試験
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程 人間科学領域

(死生学)

小論文

修士課程 死生学 入試問題

次の I - IVのうち、2つを選んで、それぞれ 500 字以内で論述してください。

修士課程 死生学 小論文問題

- I. デンマークの哲学者キルケゴールは1849年『死に至る病』という本を出版し、「死に至る病とは絶望の事である」と記しました。昨年、精神科医の岡田尊司氏が同様に『死に至る病』という新書を出版しました。副題には「あなたを蝕む愛着障害の脅威」とあります。現代日本社会はとても生き辛く、精神的に「死に至る病」に罹っていく人が多くいます。これらの本にとらわれなくて構いませんので、あなたが考える現代日本の「死に至る病」の現実について500字以内で論述して下さい。

修士課程 死生学 小論文問題

- Ⅱ. 埼玉医科大学国際医療センター包括的がんセンターには精神腫瘍科があり、更に同科には遺族外来があります。包括的がんセンターにおける精神腫瘍科と遺族外来の意義について500字以内で論述して下さい。

修士課程 死生学 小論文問題

- Ⅲ. 病気などで死期が近い場合の「死の迎え方」では、どのような点に留意したいですか。身近な、あるいは個人的に養ってきた死生観があれば、それとの関連で 500 字以内で論述してください。

修士課程 死生学 小論文問題

- IV. 日本の、または海外の伝統的な死者儀礼あるいは埋葬法のいくつかについて、死生観との関連で500字以内で論述してください。